
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 141 号(2024.9.20)
農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力！

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第 141 号をお届けします。

-----第 141 号の目次-----

1 活動組織の活動紹介

☆水とみどりの活動組織（新潟県新発田市）☆

チューリップ等の植栽、サツマイモの植付け、ごみ拾い等、地域の住民や子供たちも協力しながら、様々な活動を行っています！

☆二鹿愛郷会（山口県岩国市二鹿）☆

「へこたれない」を合言葉に、美しい農村環境を次世代に繋いでいきます！

2 代表者へのインタビュー

☆安代地域多面的機能保全組織（岩手県八幡平市安代地域）☆

代表の工藤さんへのインタビューを掲載！広域活動組織の経緯、取組、今後の展望等についてお話いただいています！

3 活動組織の活動の啓発・普及紹介

☆美郷町干畑地域農地・水・環境保全組織（秋田県美郷町）☆

多面的機能支払交付金による活動を紹介する広報誌を作成中！工夫している点を御紹介しています！

【編集後記】

■ 1. 活動組織の活動紹介(1) ～水とみどりの活動組織(新潟県新発田市)～ ■

～ 地区概要 ～

新発田市は越後平野（新潟平野）の北部に位置し、市の南東部は、磐梯朝日国立公園、胎内二王子県立自然公園を望む豊かな自然景観に恵まれています。活動範囲は、田 46ha、農道 6.8 km、水路 13.7 kmとなっています。

～ 主な取組 ～

- ◎ 本組織は、平成 24 年度から農地・水保全管理支払交付金に取り組み、平成 27 年度から新発田市多面的機能支払制度広域協定運営委員会に参画しています。
- ◎ 植栽活動には女性が積極的に参加しており、秋にチューリップの植栽を行っています。また、江ざらい、農道の砂利敷などは男女関係なく行っていて、女性の参加は全体の 3 割程度となっています。
- ◎ 地域の小学校で、サツマイモの植付けや焼きイモを通じて子供たちと関わるなど、学校教育と連携し啓発・普及活動を行っています。
- ◎ その他には、景観保全活動として、地域の住民や子供たちと定期巡回ごみ拾いを行っています。
- ◎ これらの活動を通じて、地区内の農村環境を守っていくとともに、子供たちへ地区や農業、環境の大切さを伝え、今後も地域資源の保全管理を行いたいと思います。



定期巡回ごみ拾いの様子



水路の泥上げの様子



啓発・普及活動/学校教育との連携
（燻炭焼の体験）の様子

【新発田市多面的機能支払制度広域協定運営委員会】

編集担当 SDGs コメント

女性が積極的に参加した植栽活動が行われていることから、目標5（女性の参画により地域や活動組織の取組の可能性を広げる。）に貢献しています。また、サツマイモの植付け、焼きイモなどを通じて目標4（地域内外の人に質が高い教育、生涯学習の機会を提供する。）に貢献しています。これからも様々な方が活動に参加する地域づくりを応援しています！



■ 1. 活動組織の活動紹介(2) ～^{ふたしかあいきょうかい}二鹿愛郷会(山口県岩国市二鹿)^{いわくに し ふたしか}～ ■

～ 地区概要 ～

二鹿地区は、山口県岩国市中心部より 20km 西側に位置し、山々に囲まれた標高 220m の農村地域です。「梅津中将与双頭の鹿」の二鹿伝説、7つの滝、キャンプもできる野外活動センター、二鹿谷川の河川プール、県指定天然記念物のシャクナゲ群生地、渡り蝶アサギマダラが飛来するフジバカマ園などがあり、日本一を目指せる美しい山里の景観を有しています。活動範囲は田 11.0ha、農道 2.2km、水路 3.1km です。



水路の泥上げ
「1人より2人、共同作業なら
気も楽、体も楽、精が良い」

～ 主な取組 ～

◎ 昭和 44 年に「地元二鹿を元気づけよう」と結成された“二鹿昭和会”を基盤として、平成 21 年度から多面的機能支払への取組を始めました。「へこたれない」を合言葉に、集落全員の輪の力で農村環境づくりを中心に、地域内外の交流にも力を入れ活動しています。



植栽等の景観形成活動
合言葉「へこたれない」

◎ 不在村地主や高齢化により作付けができない農地の実態を把握し、不在村地主⇄二鹿愛郷会⇄入作農家の連絡体制の整備を行っています。集落入口の掲示板に新規就農者募集のチラシを掲載し、入作の推奨・推進を行っています。



不在村地主との連絡体制の整備

◎ 高齢化が進む中でも、週末に農地や家屋の管理のため都市部から帰郷する人がいます。これらの方を地域の担い手として期待するとともに、今後も二鹿愛郷会として後継者への援助、後押しを惜しまず勧めていくこととし、次世代の営農体制の確立を目指しています。



啓発・普及活動

【二鹿愛郷会：代表 河村武司】

編集担当 SDGs コメント

水路の泥上げは、地域資源の適切な保全管理に繋がることから、目標2(持続可能な農業生産を支える。)に貢献し、植栽等の景観形成活動は、地域住民以外の方が来訪する地域資源の創出に繋がることから、目標 8(地域における所得向上や雇用の確保を図る。)に貢献しています。

また、地域内の農地の実態を把握し、連絡体制の整備を行うことは、取組の継続に向けた組織体制の検討に繋がることから、目標 12(持続可能な生産・消費を進める。)に貢献しています。

今後も本活動を継続していただくことで、よりよい農業環境がつくられることを応援しています。



■2. 代表者へのインタビュー

あしろうちいきためんてききのうほぜんとしき
～安代地域多面的機能保全組織(岩手県八幡平市安代地域)～
はちまんだいし あしろうちいき

組織の概要

八幡平市は、岩手県の北西部に位置し、北は青森県、西は秋田県と接しています。安代地域多面的機能保全組織が活動する安代地域（旧安代町）は、冷涼な気象条件を生かして、リンドウの栽培が盛んです。

安代地域多面的機能保全組織は、農地・水保全管理支払交付金時代から活動している広域組織で、平成24年に安代地域内の11組織が合併して誕生しました。

- 活動範囲：847ha（田 529ha、畑 40ha、草地 278ha）
- 活動施設：水路 166 km、農道 124 km



代表 工藤 十九さん
(運営委員会会長)

～インタビュー～

Q：活動組織を設立したきっかけを教えてください。

A：農地・水保全管理支払交付金時代に、事務の代行を安代土地改良区に相談したことがきっかけです。その当時、安代地域には、11の活動組織があったのですが、どの組織でも事務処理が負担となっていて、活動の継続が難しい状況でした。そこで、土地改良区に相談した結果、安代地域内の活動組織で合併して、事務は土地改良区にお願いすることになりました。

Q：広域化して、良かったことを教えてください。

A：1つ目は、事務の負担が解消されたことです。事務を土地改良区に委託したことで、構成員の皆さんは、活動に専念できています。もし、合併も事務委託もしていなかった場合、安代



水路の泥上げの様子



植栽活動の様子

地域内の半分以上が、活動をやめてしまっていたと思います。また、土地改良区には、多面的機能支払交付金の専門職員さんを配置していただいております、大変助かっています。2つ目は、組織内で交付金の融通ができるようになったことで、交付金を無駄なく使えることです。

Q：代表者として心掛けている事を教えてください。

A：会議をスムーズに進めることを心掛けています。事前の調整等により、会議当日は、事務局がスムーズに会議を進行できるようにすることが代表としての役目だと感じています。また、広域活動組織ということもあり、地域間の調整の重要さと難しさを感じています。

Q：地域の子供たちを交えた活動はありますか。

A：小学校と連携して、総合的な学習の一環として生き物調査を実施しています。その他にも、地域によって子供たちと一緒にそばまき・収穫体験や、特産品のリンドウの栽培体験などもやっています。

Q：今後の展望や目標を教えてください。

A：広域活動組織として活動を開始してから、既に10年以上経過していますが、組織の顔ぶれは、ここ10年程、ほとんど変わらない状況です。高齢化も進行している中で、今後も活動を継続していくためには、農家以外の方にも活動に参加してもらおうということが大事だと感じています。今後も子供たちを交えた活動を継続していくことで、世代間交流や、農家以外の保護者との交流を図りたいです。また、少しでも農業に興味を持ってもらうことが、多面的機能支払交付金の活動への参加に繋がるものと考えています。



運営委員会の様子



水生生物調査の様子



リンドウの栽培体験の様子

【安代土地改良区：立花真一】

編集担当 SDGs コメント

広域化による組織強化や、土地改良区と連携を図る活動は、目標 17（地域協働の力により目標を達成する。）に貢献しています。また、小学校と連携して、総合的な学習の一環として生き物調査を行っていることから目標 4（地域内外の人に質の高い教育、生涯学習の機会を提供する。）に貢献しています。

世代間交流や、農業以外の方との交流を図ることで、多面的交付金をもっと多くの人に理解していただき、多様な年代が活動に参加する「元気があふれる農業、農村づくり」を進めていくことを応援しています。



■3. 活動組織の活動の啓発・普及紹介

みさとちょうせんはたちいきのうち みず かんきょうほぜんとしき みさとちょう
～美郷町千畑地域農地・水・環境保全組織(秋田県美郷町)～

広報活動(広報誌)の概要

◇美郷町千畑地域農地・水・環境保全組織では、多面的機能支払交付金による活動を幅広く知ってもらうため、広報誌を作成・配布しています。

◇組織の運営委員会の決議内容等と合わせて、農林水産省の「農業・農村の多面的機能」の資料や、活動写真を掲載することにより、活動に参加してない方も活動について理解しやすい内容を目指しています。



～工夫しているポイント～

ポイント1 田んぼダムの取組を紹介！

組織内の一部地域で田んぼダムを実施しており、その仕組みや効果を様々な方へ理解してもらうため、秋田県が発刊した「田んぼダム通信」を掲載しています。

田んぼダムをやってみませんか!?

「田んぼダム」を活用しチカラを合わせ地域防災!

排水調整により多くの農作物は守られ、また下流域の住宅街への浸水を減少させます。

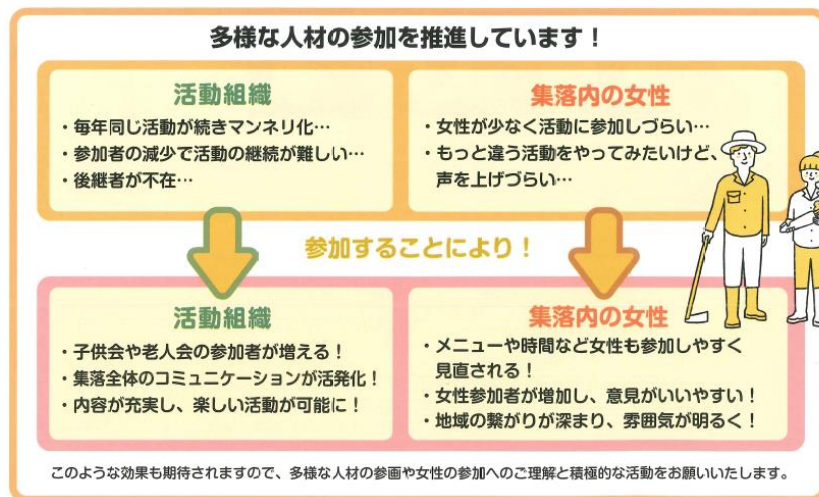


田んぼダムに取り組んだ農家の意見です!



ポイント2 多様な人材の参加を推進！

多様な人材の参画により、様々な意見を取り入れ、活動内容へ反映することで、より良い活動・より良い組織を目指していることを紹介しています。



ポイント3 「SDGs」への貢献をアピール！

多面的機能支払交付金による共同活動が、持続可能な世界を目指す国際目標である「SDGs」の達成に貢献していることを紹介しています。

多面的機能支払交付金 × SDGs

多面的機能支払交付金の活動は、農業・農村の維持・発展を通じて、SDGsの実現に貢献しています。

農地周りの草刈り

生物の生息状況の把握

SDGsの目標にどんな活動が関わっているか考えてみましょう！

SDGsとは？

2015年9月の国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標。経済、社会、環境の3つの側面のバランスのとれた持続可能な世界を実現するための17の目標から構成。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



■ 編集後記 ■

読者のみなさま、こんにちは！今回のメールマガジンはインターン生の喜安が担当させていただきました。今回は安代地域多面的機能保全組織（岩手県八幡平市安代地域）の代表・工藤さんへのインタビューを御紹介しました！広域化による事務負担の委託で、時間も交付金も効率よく使えるようになったとのことで、工夫によって状況を改善したとても良い例だと思います！

いつもメールマガジンを読んでいただきありがとうございます。次回の投稿もお楽しみに！

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからもご覧いただけます！→

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇多面版 SDGs アイディアシート（案）◇

SDGs アイディアシートのダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei_SDGs.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしています！！

tamen_ml@maff.go.jp



高めよう 地域協働の力！

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
農林水産省農村振興局整備部農地資源課
多面的機能支払推進室（担当：青木、土田）
TEL：03-3502-8111（内線 85683）
